

行政報告

(令和4年第5回定例会【9月】提出)

安芸太田町

1 戦没者追悼・平和祈念式典について【総務課】

8月15日、役場本庁で安芸太田町戦没者追悼・平和祈念式典を開催しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、遺族会や原爆被害者の会、町関係者併せて109人が参列されました。

また、参列いただけなかった方にも戦没者追悼と恒久平和を祈念いただくため、正午に防災行政無線でサイレンを鳴らし、黙とうを呼びかけました。

さらに、本年は戦争による被害の実態を伝え、平和の尊さについて考えていただくために、8月10日から17日まで、役場本庁で「ヒロシマの証言～被爆者は語る～の上映会」及び「サダコと折り鶴ポスターの展示」を行い、多くの方に来場いただきました。

2 安芸太田町らしい教育のあり方懇話会について【総務課】

本町のあるべき教育、また本町らしい教育、更には本町としてどんな子どもを育てていきたいのかを示す教育大綱の策定に向けて、「安芸太田町らしい教育のあり方懇話会」を設置し、第1回目の会合を7月30日に開催しました。

当日は、委員の初顔合わせということで、今後の懇話会の進め方について協議し、併せて町の概要や保育・教育の取組についての紹介をいたしました。第2回会合は10月5日の予定であり、議員をはじめ町民の皆様にもふるってご参加いただければ幸いです。

3 ハザードマップの配布、自治会との情報交換について【総務課危機管理室】

地域の土砂災害警戒区域や洪水による浸水想定といった危険個所の注意喚起を図るため、梅雨時期を迎えるにあたり全戸にハザードマップを配布しました。

また、配布後はハザードマップの見方や避難指示等の発令時に執っていただきたい行動や避難の方法、防災情報の意味を知っていただくための説明会を順次開催しており、これまで4か所の自治会や自主防災組織との情報交換を実施しております。

また、今年度は3年ぶりに安芸太田町防災会議を対面で開催させていただき、本格的な災害シーズンを迎える梅雨時期の前に貴重な意見交換をさせていただきました。

4 生涯活躍のまち筒賀拠点整備計画策定委員会について【筒賀支所】

昨年度のワークショップで協議頂いた様々なご意見やご提言を踏まえ、筒賀地区における拠点整備に向けた基本計画をとりまとめるため、第1回目の策定委員会を8月19日に開催しました。

会合では委員長・副委員長を選考し、今後の策定委員会の進め方や審議内容、審議のスケジュール等について協議しました。委員は10人、会議は公開とし、毎月1回のペースで開催する予定であり、また広く町民の声を伺うために、今後は適宜町民との意見交換会も開催することとなりました。

5 広島サミット県民会議への参画について【企画課】

7月21日に広島サミット県民会議設立総会が開催され、本町も構成員として出席しました。同県民会議は、広島県、広島市の他県内全自治体、産業経済団体、観光・交通・運輸団体、医療・衛生団体等の77団体で構成され、令和5年5月に開催される広島サミットの成功に向け、県全体の総力を結集するために設立されました。

本町もG7広島サミット及び関連事業の成功に加えて、この機会に「安芸太田町」をしっかりと発信できるよう、県民会議並びに事務局との連携を密に図ってまいります。

6 第二次長期総合計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略）施策評価について【企画課】

第二次長期総合計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略）に定めた、令和3年度の実施事業について、同計画の後期基本計画（同総合戦略）策定時に設定した目標値と実績値を点検し、施策の成果と課題について内部評価を行いました。

この内部評価については、8月23日の「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において、各委員からご意見をいただいたところであり、これらのご意見を踏まえながら引き続き各施策の目標達成に向けて頑張っております。

7 安芸太田町地域公共交通会議について【企画課】

6月28日に安芸太田町地域公共交通会議を開催し、令和3年度の交通行政施策の報告を行うとともに、本年度策定する次期地域公共交通計画及び、定額タクシーにデジタルの要素を導入する生活MaaS社会実装事業について説明を行いました。

各委員からは、地域公共交通計画の策定にあたって、広く利用者の声を把握するとともに、持続可能な公共交通の在り方を検討してほしい旨の意見をいただきました。

8 地域おこし協力隊について【住民課】

地域おこし協力隊は、8月1日付けで新たに2人が着任し、現在7人が活動しています。新たに着任した隊員は、1人が地域商社あきおおたにおいて、主に観光を通じた関係人口の創出に取り組み、もう一人は自伐型林業に取り組んでいます。

今年度の新規採用予定の残り3人については、引き続き求人サイト等で募集を行っています。

また、6月10日に戸河内ふれあいセンターメイプルホールで開催した、地域おこし協力隊活動報告会は、町内外から約50人に参加をいただき、活発な意見交換等も行われ、今後の活動に繋がる有意義なものとなりました。

9 集落支援員について【住民課】

昨年度から欠員となっていた、加計地区の集落支援員が8月1日付けで着任しました。加計支所を拠点として、集落の維持が困難となりつつある周辺集落を中心に巡回・点検を行い、住民の声を聞きながら集落の維持活動を推進していきます。

引き続き筒賀地区の集落支援員の配置についても、鋭意取り組んでまいります。

10 ごみ分別説明会開催状況等について【衛生対策室】

ごみ分別に関する周知・啓発推進のため町内各所においてごみ分別説明会を開催し、地域サロン等を含め8月末日現在で31箇所、合計479人の方にご参加をいただいています。また、議会でもご指摘いただいた「ごみ分別五十音事典」は年内の各戸配布を目指し、鋭意作成中です。

11 有害鳥獣講習会と集中捕獲期間について【産業観光課】

適切な有害鳥獣対策について周知を図ることを目的として、7月26日に鳥獣被害対策研修会を開催し、19人が参加されました。広島県西部農業技術指導所職員を講師として招き、イノシシをはじめとする鳥獣の生態を知るとともに、適切な電気柵の設置方法等について講義を受けました。秋季にも継続して同様の研修を開催し、地域全体で農地を守る意識の醸成を図りたいと考えています。

また、8月1日から10月31日を集中捕獲期間とし、鳥獣被害対策実施隊60人、実施隊補助員3人、合計63人を任命し、銃器、わなによる捕獲や追い払い活動を積極的に取り組んでいます。

12 営農専門員の配置と加工品セミナー開催について【産業観光課】

6月1日より営農専門員として、元広島県職員の吉永美和子氏を雇用しています。

吉永氏は本町の農業事情にも精通していることから、早速、專業農家の経営指導や特産品の振興、加工品の法改正による資格取得等の指導をしていただいています。また、高齢化により後継者に悩む営農・加工品団体の存続に向けた取り組みも開始しています。

7月21日に農産物加工品セミナーを開催し、21人の町内農産物出荷者・加工品生産者が出席し、広島県西部保健所から食品衛生法の改正及び専門員から加工品の基礎知識について研修を行いました。

13 イベント開催状況について【産業観光課】

コロナ禍で町プロモーションの機会が減少していましたが、8月11日に2件のイベントを実施しました。

地域商社あきおたとともに、毎年マツダスタジアムで実施する「わがまち魅力発信隊」に参加し、漬物焼きそば、鮎の一夜干し、祇園坊柿ジェラートなど町の特産品を販売したほか、来場者がもりみんと一緒に写った写真をSNSに投稿するなどのPRを行いました。

また、3年ぶりのサイクリングイベントとなる「Fun Ride ひろしま in やまがたサイクルランド 2022」を北広島町と合同で開催しました。県内外から91人のサイクリストに参加いただき、山県郡の自然を楽しむとともに、井仁棚田交流館、道の駅来夢とごうち、太田川交流館かけはしに設置したエイドステーションでは、町の特産品も楽しんでいただきました。

14 道の駅再整備について【産業観光課】

道の駅再整備に係る官民連携による事業手法を検討するため、国土交通省の「令和4年度官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援調査費補助金」の交付決定を6月17日に受けました。現在、道の駅周辺道路の交通量調査や駐車場の稼働状況、施設需要等を把握するため、利用者調査を実施しています。

これらの調査は、参画意欲の高い民間事業者を発掘するためのサウンディング（官民対話）での根拠データとして活かすほか、道の駅の動線設計の精度向上や導入機能の絞り込み等の検討に活用してまいります。

15 加計スマートインターのフルインター化について【建設課】

加計スマートインターチェンジのフルインター化については、NEXCO西日本とも協議を行いながら、概算設計等の実現可能性調査を行っているところですが、物理的には十分実現可能との感触を得た事から、6月14日に国土交通大臣あてに町として正式にフルインター化に向けた要請活動を行なってまいりました。

また、町の取り組みとしてフルインター化後の有効利用に関する利用促進勉強会を先行して立ち上げており、第1回の活動を7月25日に開催したところです。この勉強会では、国土強靱化だけでなく観光面においてもスマートインターを利用してもらえるよう町内の観光施策検討や地域の魅力発信、体験場所の提供など様々な意見をいただきました。

国土交通省が公表する今年度の準備段階調査の候補地選定は、秋に行われる予定です。

16 広島県水道企業団設立準備協議会からの脱退について【建設課】

かねて検討を続けてきた水道事業の広域連携について、町としては単独経営を続けることを選択したことから、「広島県水道企業団設立準備協議会（協議会）」からは7月22日付で脱退いたしました。

本町が脱退するまでの令和4年度準備協議会事業費に対する負担金は必要になることから、金額の確定後、今年度中の補正予算計上を予定しています。

引き続き安全で安心な水を町民に提供するとともに、今後は水を財産とした町づくりに向けた取り組みについても検討を進めてまいります。

17 「黒い雨」体験者への被爆者健康手帳交付について【健康福祉課】

国が示した新たな被爆者認定指針の運用が、本年4月以降5か月を経過した現在、本町においても援護の対象から漏れていた多くの黒い雨体験者に、被爆者健康手帳が交付されています。

8月31日現在の被爆者健康手帳等の申請・交付状況は、次のとおりです。

申請種類	申請件数	交付件数	却下件数
被爆者健康手帳の交付	315件	164件	0件
健康管理手当の認定	309件	74件	15件

現在、被爆者健康手帳や健康管理手当の交付申請に加え、医療費や介護給付費の還付請求に係る事務も進めているところであり、各種申請書を受理した際は、内容をしっかりと確認後、早期に県へ進達するよう適正に事務を進めます。

18 新型コロナウイルス感染症対策について【危機管理室・健康福祉課】

8月31日現在、本町では累計で471人の感染者が確認されています。

特に、本年8月に入ってから、町内施設等における集団感染をはじめ、家族内感染と思われる203人の感染事例が確認されており、8月12日付けで広島県が独自に発出された「医療非常事態警報」以後も連日新規感染者が確認されています。

これまで、広島県においては、国の方針を踏まえつつ新たな行動制限は行わないこととされていることから、町内施設の利用制限や、町外への移動自粛要請は実施しておりませんが、町民の皆様には「可能な方のワクチン接種の検討」と、「基本的な感染症対策の徹底」について継続して取り組んでいただくよう広報・周知に努めてまいります。

また、本町独自の取り組みとして実施しております、要支援自宅療養者に対する食料品

等の支援物品の配送に関しましては、県の対応が遅れがちなか、町民の生活を支える取り組みとして評価いただいております、8月31日現在で61件・221人の要支援自宅療養者に114セットを届けております。

19 新型コロナウイルスに対するワクチン接種について【健康福祉課】

本年6月末から、3回目のワクチンを接種して5か月を経過した60歳以上の方、18歳から60歳未満の方のうちで基礎疾患のある方、更には医療従事者や施設従事者等を追加で接種の対象とした、新型コロナワクチンの4回目接種を実施中です。8月31日現在の接種状況は、以下のとおりです。

対 象	2回目		3回目		4回目	
	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率
65歳以上	2,811人	91.92%	2,712人	88.69%	1,948人	63.70%
18～64歳	1,972人	80.10%	1,484人	60.28%	256人	10.40%
12～17歳	136人	61.26%	60人	27.03%		
5～11歳	35人	14.11%				
合 計	4,954人	82.70%	4,256人	71.05%	2,204人	36.79%

国からは新たに5回目のワクチン接種について、「10月半ばからオミクロン対応型のワクチン接種を開始できるよう、準備を進めよ」との連絡が来ております。

5回目のワクチン接種は、現在流行しているオミクロン株に対応したワクチンということもあり、4回目までのワクチンを接種済みの方は勿論、これまでの3回目、4回目のワクチン未接種の方も含め、2回目のワクチンを接種済みで前回の接種から一定の期間が空いている、12歳以上の方全員が対象となる予定です。

現状において、まだまだ不明な点は多くありますが、遺漏なきよう諸準備と体制整備を進めていきます。

20 学校教育活動について【教育課】

今年度より、町内全ての学校において学校運営協議会を設置し、5月下旬から6月初旬にかけて、第1回目の学校運営協議会を開催しました。委員の皆様には校舎や授業の様子を見学していただくとともに、それぞれの学校運営方針や取組の重点等を説明し、承認を受けました。

7月13日から15日までの3日間、3小学校の5年生が合同で、国立江田島青少年交流の家において体験活動を実施しました。天候にも恵まれ、海の生物観察、キャンドルの集い、カッター、カヌー研修等、日常とは異なる江田島での体験活動を通して、仲間と支え合いながらねばり強くやり抜く姿が見られました。

8月2日、今年で10年目を迎える「科学アカデミー」を日本技術士会中国本部の方を講師にお招きし、開催しました。この日は、科学工作を行い町内49名の小学生の参加がありました。今後は、9月と10月に小学校高学年、中学生を対象として開催の予定です。

21 保小中高連携について【教育課】

7月28日、昨年度に引き続き、町内のこども園、保育所、小学校、中学校、高校の園長、所長、学校長が一堂に会する安芸太田町保小中高連絡協議会を加計高校で行いました。この協議会は、就学前から高校に至るまでの教育活動を連携して進めていくことを目的

としています。協議会では、加計高等学校二川校長先生から「安芸太田町で育つ高校生の姿」についての講話を聞いた後「安芸太田町らしさ（強み）を生かした取組として考えられること」について協議しました。

22 安芸太田町立志式について【教育課】

6月18日、新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていましたが、青少年育成安芸太田町民会議主催の安芸太田町立志式が川・森・文化・交流センターで、町内中学校3年生31名を対象に開催されました。

式では、各中学校生徒代表による決意発表が行われるとともに、記念講演として本町出身で、宮大工として活躍されている清水開基（しみずかいき）さんから、夢や志を実現するために努力を継続していくことの重要さをお話いただきました。

23 第60回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の開催について【教育課】

第60回大会は、公益社団法人日本ライフル射撃協会と全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会安芸太田町実行委員会の主催により、7月28日から31日までの4日間の日程でつつがライフル射撃場で開催されました。

今年は44都道府県から130校、選手・マネージャー合わせて約500人の参加がありました。

地元加計高校射撃部は、ビームライフル男子において団体で4位という好成績でした。

射撃部員には、ボランティアスタッフとしても、大会の準備及び運営補助に携わっていただきました。

24 安芸太田町成人式について【教育課】

8月14日、新型コロナウイルス感染症の影響により延期していましたが安芸太田町成人式を川・森・文化・交流センターで開催し、対象者40人中27人が出席されました。

記念式典では、加川桃香（かがわ ももこ）さんが代表して成人宣言を行いました。

アトラクション「恩師からのメッセージ」で映像が流れると、町内で過ごした学校時代を懐かしむ様子が伺えました。

当日は、RCCのテレビ番組の取材もあり、和やかな雰囲気にもまれ、盛会裏に終わることができました。